

当院泌尿器科で膀胱全摘術を 受けられた方はご覧ください。

研究課題：当院におけるロボット支援膀胱全摘術の成績調査

膀胱癌は、広がり方や癌細胞の状態によりお勧めできる治療は変わってきます。
筋層まで広がったもの（筋層浸潤膀胱癌）や、
筋層までは広がってなくても癌細胞が広がりやすいもの（高リスク非筋層浸潤型膀胱癌）
に対しては、膀胱を全て摘出する膀胱全摘除術が推奨されています。
従来は、膀胱の摘出はメスでお腹を開いて手術を行う（開腹手術）、または腹腔鏡用いての手術（腹腔鏡下膀胱全摘除術）が標準治療でした。
しかし、近年、手術用のロボットによる支援を受けたロボット支援膀胱全摘除術が行えるようになりました。
健康保険でも認められています。

そこで、今回、当院で膀胱の摘出治療を行った患者さんの過去のカルテをふりかえり、どのような患者さんに、どのような治療の効果があり、またどのような手術の合併症があるのか調べることにしました。目的は、今後の膀胱癌の患者さんの、より安全で効果的な手術を行うための判断の助けになることです。

1. 今回の研究について

研究課題名：当院におけるロボット支援膀胱全摘除術の成績調査

この研究では当院の泌尿器科で膀胱全摘除術を受けた患者さんのこれまでの診療データを元に、この手術の安全性、合併症などを明確とすることを目的としています。

2. 研究の方法について

この研究では、2010年4月以降に当院泌尿器科で膀胱全摘除術を受けた患者様に関して、カルテより以下のような情報を確認します。

年齢、性別、病名

臨床病期（病気の進み方）、転移があるのか、またあればその部位、病理学的診断

手術の内容、合併症、手術の前後にどのような治療を行ったか

血液検査の結果

手術の結果、経過

最終的に確認出来た患者様の状態。

この様なデータをまとめて、解析を行います。

集計されたデータは学会発表や学術雑誌及びデータベース等で公表される事がありますが、個人情報などが公表されることはありません。

この研究の期間は、福井赤十字病院倫理委員会の承認日から2024年11月23日までです。

3. 予想される利益(効果)と不利益(副作用)について プライバシーの保護について

この研究は既存の情報の解析だけを行う研究です。参加いただいた患者様に直接の利益(効果)はありません。

予測される不利益として個人情報の流出があげられます。しかしデータを取り扱う際には患者さんの氏名などは全て匿名化して解析します。つまり、お名前、生年月日、住所など、個人が特定される情報は削除して検討いたします。データの登録や保存については、これまでと同様、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

4. 研究参加に伴う費用の負担や通院について

この研究に参加することによる費用の負担や研究のためだけの新たな通院はありません。

5. 研究への不参加の自由について

もし、この研究への参加をご希望されない場合は、お手数とは存じますが、お知らせ下さい、あなたのカルテの情報は用いません。その場合も、あなたにとって最善と考えられる治療を続けさせていただきます。参加を希望されない場合には、お手数ですが下記の研究責任者、研究分担者、もしくは担当医にお知らせ下さい。データ解析の都合上、研究への不参加を希望される場合は2024年8月31日までに研究の窓口までお知らせください。

6. 個人情報の開示について

福井赤十字病院における個人情報の開示の手続については、次のホームページを参照してください。

<https://www.fukui-medjrc.or.jp/hospital/privacy-policy/>

7. 研究計画書など資料の入手について

この研究の研究計画書などの資料が欲しい、または見たい場合は、研究に関する窓口にお問い合わせくだされば、対応いたします。

8. 研究に関する窓口

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、自分がこの対象の対象になるかなど、更に詳細な情報を知りたいなどがありましたら、遠慮せずいつでもお尋ねください。

研究機関:福井赤十字病院

研究責任者:大野良和 (福井赤十字病院 腎・泌尿器科)

研究分担者:角野 佳史 (同上)

小松 和人 (同上)

塚原 健治 (同上)

河野 眞範 (同上)

高田 昌幸 (同上)

山内 寛喜 (同上)

品川 友親 (同上)

西川 貴雄 (同上)

問合せ窓口:〒918-8005

福井市月見2丁目4-1 福井赤十字病院

電話:0776-36-3630 FAX:0776-36-4133